

実績報告書

届出者	住所	大阪市浪速区湊町1-2-3 マルイト難波ビル20階	氏名	マルイト株式会社 代表取締役 木下 勝弘
特定事業者の主たる業種		69不動産賃貸業・管理業		
該当する特定事業者の要件		レ 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者		
事業の概要		主に所有不動産の賃貸、管理事業を展開している		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
平成	26	年	4	月	1
			日	～	平成
		29	年	3	月
		31	日	(3年間)	

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(25)年度	前年度(28)年度
温室効果ガス総排出量	10,726 t-CO ₂	10,586 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	11,687 t-CO ₂	11,530 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量	0 t-CO ₂	

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (28 年度)	第1年度 (26 年度)	第2年度 (27 年度)	第3年度 (28 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3 %	1.2 %	3.4 %
		削減率(原単位ベース)	0 %	0 %	0 %
削減率(平準化補正ベース)		－ %	1 %	3.2 %	1.4 %
吸収量による削減率		0 %	0 %	0 %	0 %

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 () (温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)
--

(4) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理

ビル内ガス空調機、電気空調機ともにスケジュール管理を実施し、設定温度の調節、運転時間調整を行い又手洗い給湯機の運転を夏期シーズンの間停止させる等の作業を実施することで夜間・休日でのテナント不在時に発生しうるエネルギー使用を抑え込み、間接的に温室効果ガス発生量の削減を現在推進している状況。
--

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

推進計画の周知徹底の為、当該事務所管理者に対してインターネットを利用してグラフや一覧表による可視化を図り、マンスリーでの意識付けを実施していく。また、対策項目として、照明のLED化を追加し、エネルギー使用の合理化とビル内環境の安全性とのバランスを考慮しながら計画を推進し、新たにデマンド値の見直しをも行っていく。

(2) 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策の実施状況

1. 産業・業務分野

No.	温室効果ガス(GHG)の排出及び人工排熱の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール(年度)
1	レ	GHG排出	マルイト OBPビル	コード(1113) 熱源機器の台数制限	吸収式冷温水機発生装置を実負荷に整合させた台数制御を行った。引続き、28年度も実施していく。	26年度 ～ 29年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
2	レ	GHG排出	マルイト OBPビル	コード(1121) 熱源機器(冷温水)設定温度の見直し	空調用熱源機器の冷温水設定温度を実負荷に整合するよう調整した。引続き、28年度も実施していく。	26年度 ～ 29年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
3	レ	GHG排出	マルイト OBPビル	コード(1113) 熱搬送動力運転の合理化	空調用搬送動力の台数制御及び不必要運転の削減を行った。引続き、28年度も実施していく。	26年度 ～ 29年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
4	レ	GHG排出	マルイト OBPビル	コード(1218) 不必要照明点灯の削減	共用部廊下照明を通行等に支障のない範囲で点灯制御を実施した。(夜間、休日)。引続き、28年度も実施していく。	26年度 ～ 29年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
5	レ	GHG排出	マルイト OBPビル	コード(1218) 照明球のLED化	調香機器及び美観を損なうものを除く照明球のLED球への変更を行った。	26年度 ～ 29年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
6	レ	GHG排出	マルイト 西梅田ビル	コード(1113) 空調機運転の台数制限	宴会フロアの空調スケジュールを細分化し、未使用台数の制御を行った。引続き、28年度以降も実施していく。	26年度 ～ 29年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
7	レ	GHG排出	マルイト 西梅田ビル	コード(1125) 空調機の保守整備	オフィスフロア窓際の空調機フィン洗浄を実施した。	26年度 ～ 29年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
8	レ	GHG排出	マルイト 西梅田ビル	コード(1218) 不必要照明点灯の削減	宴会フロア未使用時の共用部廊下、ホテルのバックヤードやオフィスフロアにて、利用者の協力を頂ける範囲の間引きを実施した。	26年度 ～ 29年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
9	レ	GHG排出	マルイト 西梅田ビル	コード(1218) 照明球のLED化	調光機器及び美観を損なうものを除く照明球のLED球への変更を行った。	26年度 ～ 29年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				

2. 自動車分野

No.	温室効果ガス (GHG)の排出 及び人工排熱 の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケ ジュール (年度)
1		GHG排出		コード		年度
		人工排熱				～
						年度

(3)その他の抑制対策
